

令和元年度志木市ふれあいミーティング 開催記録

- 1 日 時 令和元年6月26日(水) 13時30分～15時
- 2 場 所 宗岡第二公民館401・402会議室
- 3 団体名 宗岡第二公民館 寿大学
- 4 参加者 29人



- 5 内 容 ■…寿大学 □…市長

- 1) 参加者自己紹介
- 2) 団体の活動紹介
- 3) 議題
 - ① 新庁舎の建て替えについて
 - ② 社会問題について
 - ③ 高齢者施策について

- ④ 市内循環バスについて
- ⑤ せせらぎの小径について
- ⑥ 親水公園について
- ⑦ 高齢者サービスについて

① 新庁舎の建て替えについて

- 現在地に市役所は建て替わると聞きました。宗岡地区からは余り遠くなく、年を重ねて行く身には良かったなと思います。ただ、完成までの日、私たちに必要な施設はどこになるのか？
生涯学習課や人間ドック、交通災害の申し込みなど・・・が気になります。新庁舎に、交流、芸術活動や催事など市民の場が設けられますか？

- 新市庁舎は、令和4年4月に、現市庁舎敷地に建替えることから、現市庁舎での業務を今年末までとし、来年の仕事始めからは、「マルチファミリー志木」の8階フロアなどの志木駅周辺3か所のテナントビルや、2か所の公共施設を利用して業務を行うこととしております。

なお、仮庁舎期間中は志木駅周辺に市役所機能が集中してしまうため、総合福祉センター1階フロアに現志木駅前出張所の機能を移転し、人間ドックや交通災害の申込みができるよう、近隣の皆さまの利便性を確保することとしています。

また、新市庁舎の1階には、「市民ホール」を設置して、会議講演会等を行えるスペースを確保する計画としています。

年末には、各仮庁舎のフロアや各種手続きに関して、広報やホームページ、パンフレット等で分かりやすくご案内してまいります。

② 社会問題について

- 現在問題になっている40代、50代のひきこもりとその親の高齢化について、志木市の現状と対策を知りたいです。

- 内閣府の調査によると40歳から64歳のひきこもりが、全国で推計61万3千人おり、そのうちの7割以上が男性とのことです。
ひきこもる中高年の子と高齢の親が孤立する「8050」問題も、深刻となっています。

本市では、ひきこもりに関する調査の実施が難しいため、現状に

ついて把握はしておりません。しかし、本市の相談窓口の健康増進センターにおいて、従来から「こころの相談」、「精神保健相談」を実施しているほか、保健師による電話相談も随時受け付けておりますので、仮に、ひきこもりの家族から相談があれば対応できる体制となっています。

また、新たに6月から、毎週日曜日の午後に市民会館で「まちなか保健室」を設置し相談体制の充実に努めています。

③ 高齢者施策について

- 人口に占める高齢者の割合が全国平均より埼玉県は低い位置にあり、さらに県内で志木市は低い位置にあります。そんな中で、志木市は高齢者に対しての医療・介護・福祉の向上に向けて、いろんな対策を講じて頂き感謝しています。しかしながら、高齢者の比率は年々増加の傾向にあり、国では年金支給率の減少や医療費や負担率等の改定等が検討されているものと思われます。

私たち年金生活の高齢者には頭の痛い問題です。

そこで、人生100歳時代を迎えるのに際し、志木市では高齢者の住みやすい環境の構築に、どのように向き合っていくのか見解をお尋ねしたい。

- 市では、健康事業を実施し、いくつになっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるような体制づくりを進めています。その結果、平成23年には、健康寿命が県内で男女とも1位となりました。

また、2年前には、厚生労働省の「健康寿命をのばそう！アワード」で、健康局長優良賞を受賞することができました。

現在、高齢者人口における要介護認定者数は10%程度となっています。施設入所整備の点では特別養護老人ホームの床数に対する要介護認定者の状況として、朝霞市、新座市が約5倍、和光市が9倍なのに対し、志木市は2倍となっています。大切なことは、地域でのつながりや支え合いであり、現在、「いろは百歳体操」など、住民の皆様が主体となった生活支援や介護予防の活動の場の創出や拡大を図っているところです。

今後も地域全体で高齢者を支えるまちづくりを進めてまいります。

④ ふれあい号について

- 移動手段として、ふれあい号の運行は助かります。今後、運行エリアの拡大や増便などの予定はありますか？

- ふれあい号につきましては、福祉事業目的のため停留所が限定されるとともに、年間約1,650万円の費用がかかっています。
ふれあい号の利用者数とコストを見ると、一人当たり、500円から600円の経費がかかっていることとなります。
一方、デマンド交通についても、およそ3,500万円の経費がかかっており、現在は制限されている相乗りについても検討する余地があると思います。併せて、ふれあい号を福祉施設の送迎用バスとして存続させるのか、議論が必要と考えています。

⑤ せせらぎの小径について

- せせらぎの小径ですが、最近、通行量がふえています。通行のルールが明確でないので、背後からの自転車にヒヤッしたりします。
出入り口に石や立木があり、通れない場所や自転車のルール違反などで、歩行者優先となっていません。
また、車道が狭いため、車道を自転車で走るのは怖いので、注意看板や手すり等を設置することはできないでしょうか。

- せせらぎの小径の歩道は、自転車歩行者道ではないため、13歳未満の子供や70歳以上の高齢者を除き、原則自転車は車道を通行することとなっています。
ご意見のあった看板の設置については、現地を確認し検討するよう担当課に指示します。

⑥ 親水公園について

- 親水公園の工事はいつまで続き、どのようになりますか？大雨の際に浸水しないよう盛土など行っているのでしょうか？

- 新河岸川の河川改修工事は埼玉県により既に完了し、計画どおり、堤防は整備されています。

親水公園における現在の工事は、国の補助を受けて、埼玉県が実施している「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の一環として、中洲に降りるためのスロープの新設や中洲の護岸整備等を行っているものです。

現在の工事は令和元年6月末で完了し、その後、11月頃から新たな工事が始まる予定となっています。

⑦ 高齢者サービスについて

■ 志木市の高齢者向け無料サービスを知りたいです。お風呂の利用券や路線バスの乗車券などありますか？

□ 現在、お風呂の利用券や路線バスの乗車券の配布等は実施しておりませんが、お風呂につきましては、第二福祉センター内の入浴施設をリニューアルしましたので、ぜひご利用ください。

また、民間バス事業者では、費用はかかりますが65歳以上の方を対象とした高齢者パスも発行されています。

なお、高齢者向けのサービスをまとめた、「保健福祉サービスのご案内」という冊子も作成しておりますので、ご活用ください。